

衣服に付けて寝るだけで基礎体温を測ることができる女性用温度計を開発、販売し、利用者が基礎体温の推移や体調の変化などを記録できるウェブサイトを運営している。5月下旬には、契約先の企業から顧客の基礎体温データを預かって分析する事業を開始。サイトの利用者

挑む

県内企業

門医を紹介するサービスも始める。ソフト事業の充実で収入源を増やし、温度計の販売促進にもつなげていく。

企業向けに始めた「ランズASP」は、情報サービス会社などが、キューオーエルの温度計などを使用している顧客から基礎体温のデータを毎日集め、キューオーエルに送信。キューオ

キューオーエル (上田市)



宮島 正子社長

【キューオーエル】上田市で情報サービス会社を経営していた宮島正子社長が、女性用温度計開発のため2002年に設立。資本金8505万円。従業員8人。08年7月期の売上高は約5千万円。

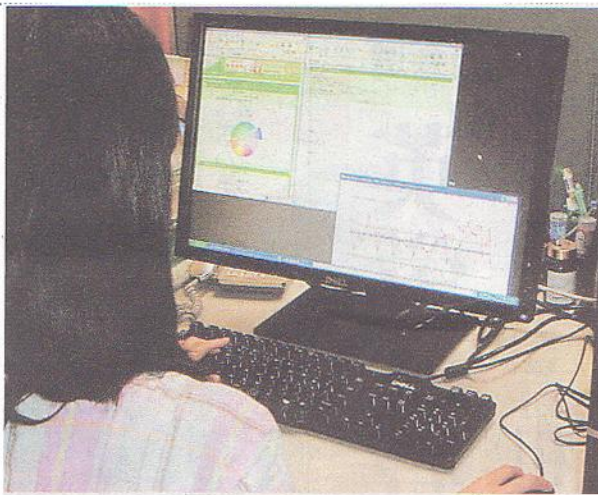
ーエルが月経周期などを分析し、相手企業に提供する仕組みだ。各企業はその情報を基に、顧客に健康管理や美容などについて助言する。

宮島正子社長は「月経周期を

女性用温度計活用ソフト事業拡充

把握することで、ダイエットやスキンケアを体調に合わせて効果的にできる」と指摘。企業からの契約料に加え、自社製品の売り上げも伸びると期待する。

これと別に運営する専用サイ



基礎体温の推移や体調の変化を利用者自ら確認できるキューオーエルのサイト

専門医紹介サービスも

トでは、利用者が温度計で測定した基礎体温データを携帯電話で送って記録したり、体調について入力したりできる。利用者はパスワードを入力して、ウェブ上の自分のデータを確認し、健康管理などに生かせる。

近く始めるサービス「カラダリズム」は、こうしたサービスの利用者に対し、提携する産科医や薬剤師、カウンセラーなどを紹介。悩みに対して専門家がサイト上で回答する。利用料は年間6千円とする予定だ。

同社の2009年7月期の売上高は前期の2倍の1億円前後の見通し。新型インフルエンザの感染拡大を受け、乳幼児や高齢者でも簡単に体温測定できる同社の温度計を使いたいという医療機関からの問い合わせも増えているという。宮島社長は「健康管理に基礎体温を活用する動きが広がっている。自社の機器やサービスへの認知を高め、業績を拡大したい」としている。